

# ごみ減量化推進員会だより

## 回 覧

令和5年3月発行  
平塚市ごみ減量化推進員会  
(事務局：平塚市環境政策課)  
電話：0463-21-9762

## 高浜台にて海岸清掃を実施しました。



令和4年11月8日(火)、平塚市ごみ減量化推進員会では60名が参加して高浜台の海岸にて清掃を行いました。この活動は、かながわ海岸美化財団の協力のもと、海洋プラスチック問題を念頭に令和3年度から始めた活動です。ペットボトルやお弁当用の容器、クリアファイル、ビニール袋等、プラスチックが使われているものを挙げればきりがありません。しかし、こうしたプラスチックはきちんと分別して捨てられないと、適切な処分やリサイクルができません。

そうして世に出てしまったプラスチックごみの多くは、平塚市に住む私たちにとって身近な「海」にたどり着きます。

今回の海岸清掃では、大きなごみは少なく比較的きれいな印象でした。財団の方からは、海を訪れる皆様がごみを持ち帰りいただいていることに加え、個人で清掃活動される方がいるというお話も伺いました。ごみ減量化をかかげて活動を行ってきたものとして、非常に嬉しく思いました。

しかし、以前より減少したものの、集められたごみの中には、ペットボトルの蓋や食べ物の容器等、多くのプラスチック製品がありました。これらは一度海に流れ出してしまうと、分解されずにずっと海の中を漂ってしまいます。海に流入したプラスチックは、生態系への影響が懸念されています。

それを防ぐには「家庭から出るプラスチックごみを減らすこと」そして、「適切な分別を行うこと」が大事です。令和4年4月から「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行されています。

プラスチックをめぐる動きは大きく変わろうとしています。しかし、これからも私達市民ひとりひとりの心掛けが大切なことは変わりません。

平塚市ごみ減量化推進員会といたしましても、引き続き精力的に啓発活動を行ってまいりますので、ご協力をお願いします。



# マイバッグ持参率調査結果(持参率の推移)

平塚市ごみ減量化推進委員会では、平成19年以降、マイバッグ持参率調査を行っています。不要なレジ袋を「もらわないようにする習慣」は、ごみの減量化だけでなく二酸化炭素を中心とした温室効果ガスの排出抑制や、海洋プラスチックの対策といった環境配慮につながる大切な行動です。



コロナ禍において、ごみ減量化・資源化に関する普及啓発が制限される状況ですが、今年度も感染防止対策を徹底した上で、調査を実施いたしましたので、過去の持参率の推移と併せてご紹介します。

〈過去10年間のマイバッグ持参率の推移〉

| H25年度 | H26年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 | R2年度  | R3年度  | R4年度  |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 43.1% | 43.5% | 45.4% | 44.2% | 45.0% | 45.4% | 58.3% | 75.7% | 80.3% | 81.4% |

過去10年をみると、前半はゆるやかな上昇となっておりますが、令和2年7月のレジ袋の有料化を機に持参率は大幅に増加し、令和3年度には80%台に到達しました。令和4年度も上がり幅こそ少なくなったものの、持参率は向上しました。

## レジ袋を減らすとどんな効果があるの？



### ①地球温暖化の防止

近年ではバイオマスプラスチック由来のレジ袋が増加しているものの、レジ袋の多くはポリエチレン製で石油を原料としています。レジ袋の焼却量を減らせば、焼却過程で発生する「温室効果ガス」が減少し、地球温暖化の防止になります。

### ②ごみの削減

レジ袋有料化以前は、一人当たり1日約1枚のレジ袋が消費されていました。余計なレジ袋はもらわないようにして、ごみの削減にご協力ください。



## 缶はつぶさない？ペットボトルはつぶす？

平塚市では、空き缶類は「つぶさないでください」、ペットボトルは「つぶしてください」とごみ出しの際にお願いをしています。さて、これは何故でしょう？



その理由は主にリサイクル工程の違いにあります。

空き缶類は、アルミ缶とスチール缶を磁石の力で分ける作業を行いますが、あらかじめつぶされていると磁力を使っての選別工程でうまく分けられないことがあります。また、たくさんの缶を圧縮してブロックのようにまとめて処理するのですが、つぶれてしまっていると、うまくブロックにできないことがあります。だから缶はつぶしてはいけないんですね。ペットボトルはこれらの心配がないから、回収する場所の容量が確保できるようにつぶして出すというルールになっています。

「つぶす」「つぶさない」の違いには、実はこうした理由があるんですね。